

Aグループ 共有事例（文責：柴田純平）

社員全員の交流を目的とした社内カレンダーの作成



キョウエイファイン様

同社では社員全員の交流を目的とした、社内カレンダーを作成した。カレンダーの表面には、出勤日計画表を、裏面には、全体行動目標と毎月開催される社内イベントの内容を記載しており、イベント内容は身体づくりトレーニングや、家族参加のレクリエーション、地域清掃など多岐にわたっている。

安全講習は年に1度しか予定していないが、社内イベントを開催して、社員の幸福度を上げることで、事故発生における直接原因の削減だけではなく、間接原因の削減に繋げていく。

第53期 経営計画書発表会の実施

泰清倉庫様

同社では社員全員に向けて第53期の経営計画書発表会を実施した。前期と今期の取り組み内容を社員と共通認識することで、良いスタートを切ることができた。

1. クレド

クレド(Credo)とは「信条」「志」「約束」を意味するラテン語で、奉斎会館では『我々が仕事をする上で、常に心掛けるべきこと』という位置付けで使いたいと思います。次の2つです。

① 荷主様の先にも『人』

求められた品質、納期、価格は増に、その先のまたその先のお客様に繋がっているものであり、またそれはメールや電話やファックスという道具ではなく全て人によって繋がっています。ご要望ご要望の先には「人」がいることを意識して、心のこもった対応を心掛けていきます。

② お客様の「その一つ」の商品から、最大限の物流サービスを創造します。

どんなにたくさん商品を扱っていても、**最終的にお客様の手に入る商品は、そのうちの一つであり一冊です。**だから、一つ一つ一冊一冊の商品をお客様にお渡しするまで大切に取り扱います。

そのためには、お客様の商品を受け入れてから、お出しするまで、作られた方の情熱・想いを考え、受け取られた方の感動・気持ちや考え、常に最良の提供とである。香濃食肉の惣菜サービスが最高のものであることと彼らの使命と考える。

以上の2つを奉還倉庫のクレドとして覚えておいてください。

2. 経営理念

お客様の喜び顔

従業員の幸せ

社会贡献

経営理念とは、会社が何のために存在するのか、何をしたいのか、何のために集まっているのか、を示したものです。会社が何をやるにせよ、全ては上記のものを満たそうとするために活動を行っています。

3. 行動指針

行動指針とは、どのように考え、どのように行動するかの基本となる方針です。会社の経営判断は下記の3点の考えを軸に行います。

5. 前年度(第52期)の総括

・売上目標 3000万/月、利益目標 300万/月に対し、かろうじて 2021 年 3 月に一度達成。2 月以降は、田畑の売れが見られたが、会社全体としては、売上、利益ともに大幅減という厳しい結果となった。

要因③ 派遣しても収益改善できず試算、派遣後の運用うまくいかず。
 ③は収益改善の結果より、希望の状況が続いていない。特に、本社作業、19号仕分け、事務系作業の一部改善が常時希望の状況だったもの、本社作業、安藤でもなく、③との交渉が通らなかった、彼、彼、彼、彼に依らず。
 19号解雇を断る、派遣しても収益を改善、維持し、派遣後に現場に働く人を残すという判断をした。経費削減の負担なども軽減されたものの、ナツメ社派遣後の運賃により、収益は上ることはできなかった。うまく機能しない理由があり、余力がある人員がいたり、一部は職責は出たものの件数の圧迫が経営の負担となった。

要因②: 白社会庫だった19号が20年8月末で閉鎖されることにより、売上がなくなったため。(その後、11月より、[]の家賃の半分の収入が入る)

要因③: コロナの影響より、三和製紙様、ビスコ様、ウタナベ流通様、三菱電機ライフサービス様、その他、売上が減少した。それに伴い、作業、荷役が減り、収益を生み出す動きが弱くなってしまった。

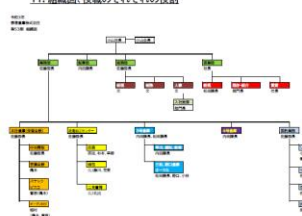
要因は、19号を借りていたT.V.C.様が、3号かまた他の音庫を探しているという状況で、見切り発車で8月末に4号音庫を借りた。19号がなくなる状況で、音

・新入社員 2 人(稲村・早野)が入社。きっかけは、同友会共同求人での 17 大学合説に参加したこと。2 人とも、各現場で研修を行い、稲村はオープンロジ係、早野は改装場に兼任する。

・社員だった島方さん、パートの小山和彦さん、斎藤さん、派遣の中島さんが病気で亡くなった。まだ現役で働ける年代であり、非常に残念無念。会社として体調管理、体調の変化にどのように接していくべきか、今後社会の高齢化が進むべき時代の大きな課題。

にセンター3階を貸した。もともと、3号1階を使って頂いていたが、
撤退に伴い、二見株式会社を本社 2 階に移転、そこで営んだ場所に入っていた。

11. 組織図、役職のそれぞれの役割



●●● 稼働している部署をまとめる部門
業務部の下倉庫の担当者は、その倉庫全体の収益責任者

それぞれ役割の部分、縦列は上が責任者、並列は役割一輪
役職毎の役割

会長
ソーター事業の責任者
会社名と組織図を添付

社長

- ・金融機関との窓口(経営報告など)
- ・京葉株への経営状況の報告、その他
- ・会長への経営報告、相談

・給与、賞与など金額の決定

Bグループ 共有事例（文責：中村伽菜）

まとめて福利厚生「matofuku」の導入

梅里物流サービス様

充実した福利厚生のラインナップを誇る同社では、新たな福利厚生として、KDDI まとめてオフィス株式会社が提供する「matofuku」のテスト導入を開始した。映画館・カラオケ、スポーツクラブ、ゴルフ場等々の割引優待やJTBの国内旅行パッケージ商品等で、最大1,000円(1人1泊)の補助金など、約1万点以上の多彩なサービスの優待が可能な会員サービスである。現在、全社員を対象に半年間無料でテスト導入し、希望者がいれば本導入を決定していく予定。



KDDIグループサービスの特典

いつでもおトクな特典

まとめて福利厚生の優待・特典をご利用可能な
会員さま向けサイトはこちら >

従業員情報の追加や削除など可能な
管理者さま向けサイトはこちら >

初期ログイン方法 >

https://www.kddimatomete.com/lp/matofuku_login/

貨物追跡ソフトウェア「イツクル」を立ち上げ

エスワイ・リンク様

貨物追跡ソフトウェア「イツクル」を4月頃に一般公開した。「イツクル」は、路線便および宅配便をメインに、CSVデータまたは配送番号から複数の運送会社の貨物状態および履歴を一括で確認可能なツールである。CSVファイルでおよそ100件程の貨物情報を一括追跡することができ、将来的には物流のビッグデータ収集にも活用できるのではと期待がされている。また、3PLの立ち位置としても活用が可能とのことで、新しい活用方法を今後も模索していく。

▼物流社長チャンネル・「イツクル」紹介動画

https://www.youtube.com/watch?v=f6QtQ_UW490&t=154s

自家消費型太陽光パネルの設置

十和運送様

倉庫の電気を補うことを目的に、自家消費型太陽光パネルを成田支店配送センター屋上に設置した。従来は、売電用として太陽光パネルを設置していたが、現在売電価格が下がってしまったという背景もあり、自家消費型の太陽光パネルに切り替えたという。成田支店配送センターは冷蔵設備がついているため、基本料金が低い傾向にあるが、今回自家消費型太陽光パネルを設置したことにより、来年度には電気代が現在の3分の1まで削減される見込みである。